

安平町まち・ひと・しごと

安平町の人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない現状を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法に基づき、「ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この総合戦略は、当町の人口の現状分析に基づき2040年を見据えた人口の将来展望を示す「人口ビジョン」という2つの構成に分かれています。

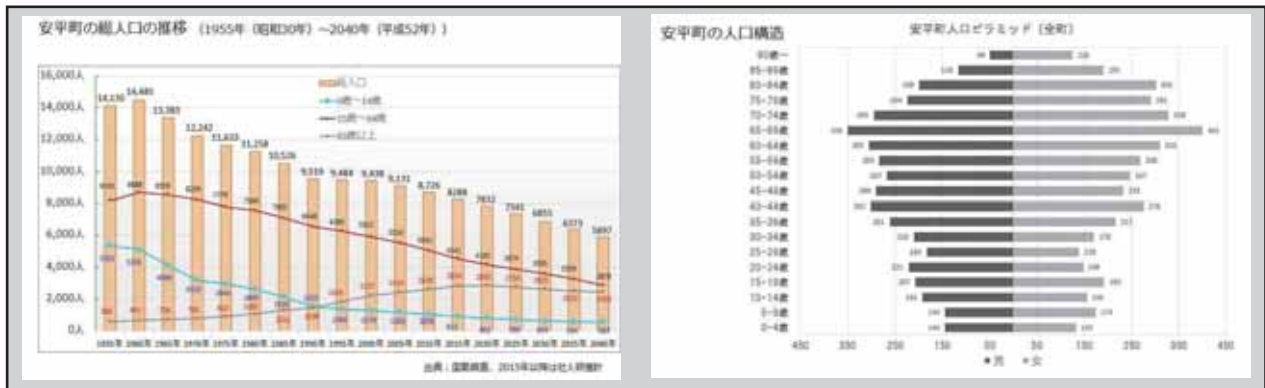
特に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少要因に対応し、地域資源や潜在している能力を活用して活力を維持し続けていくための施策にチャレンジするものです。

この総合戦略では、4つの基本目標とこれを実現する6つの重点施策分野を定め、5年後に実現したい成果を重点に応じて施策の見直しを行っていきます。(KPIとは:Key Performance Indicatorsの略:組織や事業、業務の目標の達成度合い)総合戦略の全文は、町ホームページトップ画面から >交流・まちづくり情報>安平町データ集 をお選びいただきます。

人口ビジョン (～H52年(2040年))

1. 人口の現状分析

- ・昭和35年(1960年)の14,485人をピークに継続的に減少し、平成22年(2010年)で8,726人の現状です。
- ・年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口は増加(平成27年3月現在 高齢化率33.6%)しています。
- ・国の機関の推計では平成52年(2040年)には人口が5,897人(高齢化率41.6%)になると予測されています。
- ・特に20～30代の子育て世代の年齢層の人口が少なく、将来的な地域維持に危機感があります。

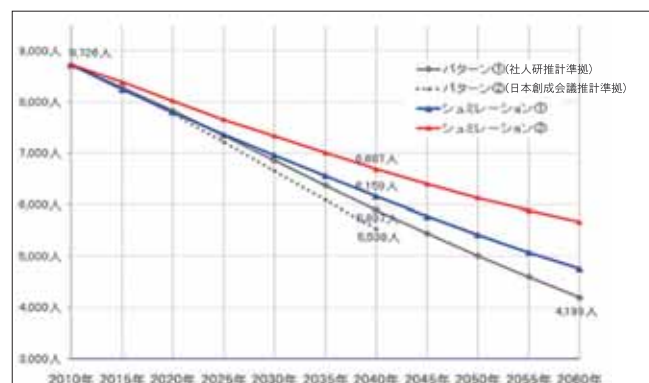


- ・合計特殊出生率1.32(平成20～24年)は、全道179自治体で127位と低い状況にあります。
- ・0～14歳までの年少人口比率の現状は11.0%。今後更なる子どもの数の減少を予測しています。
- ・人口減少要因は、自然減少(出生者数－死亡者数)と社会減少(転入者数－転出者数)の双方が起因しています。

自然減少⇒平成18～25年の出生者数－死亡者数の年平均差は▲59.6人
 社会減少⇒平成18～25年の社会減少総数は325人。20～29歳の若者と70歳以上の高齢者の転出割合が全体の96%

2. 仮定値による将来人口の推計

- ・パターン①⇒2040年に5,897人(2060年には4,199人)
- ・パターン②⇒2040年に5,538人
- ・シミュレーション①
(パターン①で出生率が向上した場合)⇒2040年に6,159人
- ・シミュレーション②
(パターン①で出生率が向上し社会増減も均衡した場合)
⇒2040年に6,687人



※パターン①は、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計
 パターン②は、民間研究機関(日本創成会議)の人口推計